

東 亀山東小だより

令和4年11月25日(金)
亀山市立亀山東小学校
亀山市本町一丁目9番9号
TEL:82-0011 No.12
文責:校長 高宮 綾子

11月も終盤を迎え、冬の到来を一層感じるようになりました。

しばらく落ちていた新型コロナウイルスの感染状況も増加傾向にあります。学校では、換気や手洗い、場面に応じたマスク着用、健康観察など、引き続き基本的な感染対策に努めてまいります。

ご家庭でも、引き続きお子さんの体調管理をよろしくお願ひします。



「あたたかいメッセージ」を教室いっぱいにしてしよう

「いじめ防止強化月間」と11月の児童会目標「自分や相手が言われてうれしい言葉を使おう」に合わせて、「『あたたかいメッセージ』を教室いっぱいにしてしよう」という取組を児童会が中心となって全校で行いました。

教室に、肯定的な言葉（プラスメッセージ）が溢れているか、否定的な言葉（マイナスメッセージ）が溢れているかによって、教室の雰囲気は全く変わります。「ありがとう」「すごいね」などのあたたかなプラスメッセージを笑顔で互いに伝え合う学級・学校は、みんなが安心できる学級・学校です。そして、それは、いじめの未然防止にもつながります。

また、プラスメッセージは、子どもたちの自己肯定感を育みます。自己肯定感は、子どもたちの学習・生活の原動力となり、いろいろなことに挑戦する意欲や、少しくらい失敗しても、また次がんばろうと思える折れない心のもとになります。

「あたたかなプラスメッセージ」で、自分も周りの人も大切にできる、そんな教室や学校にしていきたいと思ひます。

子どもたちのふりかえりプリントより

あたたかいメッセージを最初は、できないと思っていたけど、やってみて、すごく気持ちいいなと感じました。(6年)

ぼくは、何かをしてもらったとき、「ありがとう」と言うのがくせづいてるので、いつも「ありがとう」と言えました。やっぱり温かい言葉をかけてもらえると、いつもうれしいと思いました。(5年)

自分からあいさつを言って気持ちよくなったし、相手もあいさつをしてくれて気持ちがいいなと思いました。(4年)

つぎからも、あいさつやありがとうを言えるように、いそいで動いていきたいと思いました。(4年)

よかったことは、「ありがとう」の回数を増やせたことです。ただ言うだけではなく、言うときの顔の表情に気をつけられたのは、もっとよかったです。思ひます。「ありがとう」「すごいね」などの言葉は、相手だけでなく、自分も気持ちよくなるので、これからも言っていきたいです。(6年)

友だちに「ありがとう」や「すごいね」と言ったら、友だちはうれしい気持ちやいい気持ちになるし、友だちに「ありがとう」「すごいね」と言われると、自分もいい気持ちになるので、これからも何かやってくれたりしたら、「ありがとう」と言ひます。(3年)

1週間、「ありがとう」「すごいね」をいっぱいいたるところで、言えたので、これが終わっても「すごいね」と「ありがとう」を言うことを心がけていひます。特に、「ありがとう」を言える場面がいっぱいあるので、これからもいっぱい「ありがとう」を言ひます。(5年)



※取組は全校ですが、ふりかえりコメントは3年生以上です。